

《雇用ニーズ調査 調査票》

【本調査について】

本調査は、障がいのある方や刑務所・少年院を出た方の就労の可能性を探ることを目的としています。

具体的には、障がいのある方、刑務所・少年院を出た方のそれぞれについて、雇用の現状や雇用に対する意識等の項目をお聞きします。

【実施結果について】

皆様からご回答いただいた内容については、皆様へフィードバックするため、後日網走市公式サイト等で公表する予定です。

【調査内容の処理について】

ご回答いただいた個別の情報については、すべて統計的に処理しますので、個々の事業所が特定できる形で公表することはありません。

【記入上のお願い】

- ・この調査票は、全部で7ページあります。設問は27項目です。
- ・ご記入いただいたアンケート用紙は、令和4年9月28日（水）までに同封した返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。

アンケート調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

— 《事業所情報》 —

問1. 事業所の概要

名称			
所在地			
電話番号			
記入者	所属	氏名	
業種（1つに○）			
1. 建設業	2. 製造業	3. 卸・小売業	4. 金融・保険業
5. 運輸・通信業	6. 農林漁業	7. 鉱業	8. サービス業
9. その他（ ）			
事業主体の形態（1つに○）			
1. 個人事業主	2. 株式会社	3. 有限会社	4. その他（ ）

問2. 総従業員数（1つに○）

1. 1～4人 2. 5～9人 3. 10～29人 4. 30～49人 5. 50～99人
6. 100人以上

— 《障がい者雇用について》 —

問3. 障がいのある方の雇用経験について（1つに○）

1. 直近の1年間で雇用した（現在雇用している場合を含む） →問4へ
2. 過去に雇用したことはあるが、直近1年間はない →問4へ
3. 雇用したことはない →問10へ

問4. これまでに雇用した方について教えてください。

（1）雇用した人数、障がいの種別、週単位の労働時間を教えてください。（数字を記入）

※上段に「雇用した人数の合計（過去＋現在）」、下段の（ ）内に「現在の雇用人数」を記入。

	①身体障がい	②知的障がい	③精神障がい	④重複障がい
ア 30時間以上	人 (人)	人 (人)	人 (人)	人 (人)
イ 20～30時間未満	人 (人)	人 (人)	人 (人)	人 (人)
ウ 19時間以内	人 (人)	人 (人)	人 (人)	人 (人)

（2）問4（1）で答えた方が担当した業務内容を具体的に教えてください。

①身体障がい	{ }
②知的障がい	
③精神障がい	
④重複障がい	

問5. 雇用したきっかけを教えてください。（複数回答可）

1. 応募があった	2. ハローワークの紹介	3. 支援機関からの紹介
4. 支援学校からの紹介	5. 知人からの紹介	
6. その他（ ）		

問6. 雇用に当たって利用している（又は利用した）制度はありますか。（複数回答可）

各種助成金	
1. 特定求職者雇用開発助成金	2. 障害者トライアル雇用助成金
3. 障害者職場復帰支援助成金	4. キャリアアップ助成金
5. 訪問型職場適応援助促進助成金	6. 企業在籍型職場適応援助促進助成金
7. 障害者雇用納付金制度に基づく助成金	8. 職場適応訓練費
9. 人材開発支援助成金（障害者職業能力開発コース）	
10. その他（ ）	
各種支援	
1. 障害者就業・生活支援センターによる支援	
2. 職場適応援助者（ジョブコーチ）による支援	
3. その他（ ）	

問7. 障がいのある方への配慮や工夫（複数回答可）

1. 設備等の改修	2. 図や写真でわかりやすく明示
3. 外部から支援職員の派遣	4. 家族等との積極的な情報共有
5. 作業工程等のマニュアルの作成	6. 勤務時間を柔軟に対応
7. 座席や勤務場所への配慮	8. 社員研修の実施
9. その他（ ）	

問8. 障がいのある方を雇用して困ったこと・難しさ（複数回答可）

1. 業務の切り出し方	2. 勤務場所の確保
3. 業務のマネジメント	4. サポート体制の構築
5. 生産性の低下	6. コミュニケーションの取り方
7. その他（ ）	

問9. 障がいのある方を雇用してよかったこと（複数回答可）

1. 障がいのある方への理解が深まった	2. 働きやすい職場づくりにつながった
3. 業務の見直しが図られた	4. 人手不足が解消された
5. 社内全体でコミュニケーションが図られた	6. 企業の社会的責任を果たせた
7. その他（ ）	

→雇用経験のある方の「障がい者雇用に関する質問」は以上です。

問14へお進みください。

問3で「3. 雇用したことはない」と答えた方にお聞きします。

問10. 障がいのある方を雇用したことがない理由（複数回答可）

1. 適した業務があるか不安	2. 物理的に職場環境が整っていない
3. 長く仕事を続けてくれるか不安	4. 業務に高い専門性が求められる
5. 業務に危険が伴う	6. どのように接していいかわからない
7. どのような配慮が必要かわからない	8. 雇用できる金銭的な余裕がない
9. 事業所の規模が小さい	10. 社内で理解が得られるかわからない
11. 雇用義務の対象ではない	12. 人員不足がなく、採用・補充の必要がない
13. その他（	）

問11. 障がいのある方が担当するとした場合、できそうな業務はありますか。
（複数回答可）

1. どのような業務も担当することは困難			
2. 事務	3. 電話対応	4. データ入力	5. 仕分け・検品
6. 品出し	7. 清掃	8. 製造・加工	9. 小売り
10. その他（	）		

問12. どのような支援があれば雇用が可能となりますか。（複数回答可）

1. どのような支援があっても雇用は困難	
2. 障がいのある方を支援する外部の支援者	
3. 障がいのある方を支援する社員の人件費助成	
4. 職場環境の改善に関する費用の助成	
5. 外部の支援者による社員研修の実施	
6. 外部機関による支援・相談対応	
7. その他（	）

問13. 今後、障がいのある方を雇用したいと思いますか。（1つに○）

1. 積極的に雇用したい
2. 助成制度等が活用できれば雇用したい
3. トライアル雇用等で問題がなければ雇用したい
4. 雇用したくない

→雇用経験のない方の「障がい者雇用に関する質問」は以上です。問14へお進みください。

—《刑務所・少年院を出た方の雇用について》——

問14. 刑務所・少年院を出た方の雇用経験について（1つに○）

1. 直近の1年間で雇用した（現在雇用している場合を含む） →問15へ
2. 過去に雇用したことはあるが、直近1年間はない →問15へ
3. 雇用したことはない →問20へ

問15. これまでに雇用した方について教えてください。

(1) 雇用した人数 (数字を記入)

雇用人数の合計（過去の雇用人数＋現在の雇用人数）（ ）人
うち、現在の雇用人数（ ）人

(2) 過去に雇用した方の離職理由 (数字を記入)

自己都合退職	() 人	雇用期間満了 (保護観察期間の満了 に伴う離職を含む)	() 人
--------	-------	-----------------------------------	-------

(3) 過去に雇用した方の平均雇用月数（1つに○）

1. 1か月未満 2. 1～2か月 3. 2～3か月 4. 3～4か月
5. 4～5か月 6. 5～6か月 7. 6か月以上

問16. 雇用したきっかけを教えてください。(複数回答可)

1. 応募があった
2. 保護観察所や刑務所等からの紹介
3. ハローワークからの紹介
4. 知人からの紹介
5. その他（

問17. 雇用に当たって利用している（又は利用した）制度はありますか。（複数回答可）

1. 就労・職場定着奨励金 2. 就労継続奨励金 3. トライアル雇用制度
4. 身元保証制度 5. 職場体験講習
6. その他（ ）

問18. 刑務所・少年院を出た方を雇用して困ったこと・難しさ（複数回答可）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 就労が長続きしない | 2. 無断欠勤などの勤務態度の問題 |
| 3. 同僚と円滑な人間関係を築けない | 4. 一般常識やビジネスマナー不足 |
| 5. 同僚や客とのトラブル | 6. 仕事を覚えられない |
| 7. 企業イメージの低下 | |
| 8. その他（ | |

問19. 刑務所・少年院を出た方を雇用してよかったこと（複数回答可）

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 人に対する偏見がなくなった | 2. 人手不足が解消された |
| 3. 免許や資格の所有者を雇用できた | 4. 入札参加資格の審査等における優遇措置 |
| 5. 社会貢献 | 6. 企業イメージの向上 |
| 7. その他（ ） | |

→雇用経験のある方の「刑務所・少年院を出た方の雇用に関する質問」は以上です。
問24へお進みください。

問14で「3. 雇用したことはない」と答えた方にお聞きします。

問20. 刑務所・少年院を出た方を雇用したことがない理由（複数回答可）

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 人員不足がなく、採用・補充の必要がない | 2. 会社経営上、雇用する余裕がない |
| 3. 他の従業員の理解が得られない | 4. 本人との接し方がわからない |
| 5. トラブルを起こさないか不安 | 6. 罪名・非行名が不安 |
| 7. 関係機関から依頼された機会がない | |
| 8. その他（ ） | |

問21. 刑務所・少年院を出た方の雇用に対する不安や心配（複数回答可）

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 長く仕事を続けてくれるか不安 | 2. 従業員や客とトラブル |
| 3. 企業イメージの低下 | 4. 本人との接し方 |
| 5. 受入態勢を構築できるか不安 | |
| 6. その他（ ） | |

問22. どのような支援があれば雇用が可能となりますか。（複数回答可）

- | |
|----------------------------|
| 1. どのような支援があっても雇用は困難 |
| 2. 本人を支援する外部の支援者 |
| 3. 外部機関による支援・相談対応 |
| 4. 損害が発生した場合の補償 |
| 5. 刑務所・少年院を出た方の雇用に対する社会の理解 |
| 6. その他（ ） |

問23. 今後、刑務所・少年院を出た方を雇用したいと思いますか。（1つに○）

- | |
|---|
| 1. 積極的に雇用したい |
| 2. 奨励金や身分保障の制度が活用できれば雇用したい |
| 3. トライアル雇用等で問題がなければ雇用したい |
| 4. 刑務所を仮出所（少年院を仮退院）し、刑期等が終了するまでの期間であれば雇用したい |
| 5. 雇用したくない |

アンケートにご回答いただいている方、全員にお聞きします。

問24. 障がい者雇用に関して「法定雇用率制度」を知っていますか。（1つに○）

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問25. 刑務所・少年院を出た方の雇用に関して「協力雇用主制度」を知っていますか。
(1つに○)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問26. 刑務所・少年院を出た方の雇用に関して「コレワーク」という機関を知っていますか。（1つに○）

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問27. 障がいのある方、刑務所・少年院を出た方を雇用するとした場合に重視するポイントを教えてください。（複数回答可）

- | | | | |
|------------|------------|---------|-----------------|
| 1. 就労意欲 | 2. ビジネスマナー | 3. 一般常識 | 4. 基礎学力 |
| 5. 免許・資格取得 | 6. 専門知識・技術 | 7. 行動力 | 8. 責任感 |
| 9. 誠実性 | 10. 体力 | 11. 協調性 | 12. コミュニケーション能力 |
| 13. その他（ ） | | | |

以上でアンケート調査の記入は終了です。

お忙しいところ、ご協力頂きましてありがとうございました。

※調査票は、同封した返信用封筒に入れ、切手を貼らずに9月28日（水）までにお近くの郵便ポストに投函していただきますようお願いいたします。